

教育 かしま

第30号

地域の特色ある教育活動を応援し、開かれた教育環境を推進するための情報を掲載していきます。

発行日 平成28年12月15日
発行 鹿嶋市教育委員会
連絡先 鹿嶋市教育委員会 教育総務課
Tel 0299-82-2911 (内線532)

鹿嶋市の英語教育がアツい!!

情報通信技術の進展や交通手段の発達などによりグローバル化が進む現代社会において、小中学校における英語教育の重要性は高まるばかりです。

鹿嶋市では、**小学校においては英語を「話す」、「聞く」ことで英語に慣れ親しむこと、中学校においてはさらに「書く」、「読む」力を育成し、バランスのとれた英語力を身に付けることを目標としています。**

そのために、鹿嶋市ではネイティブスピーカーである英語指導助手(ALT)を市内全小中学校へ配置しています。小学校での英語教育は全国的には5～6年生で実施されている場合が多いです。これに対し、鹿嶋市では教育課程特例校として小学校1～2年生は年間20時間、3～6年生は年間35時間、児童が英語に親しむ時間を設けています。また、中学校では、週4回の英語の授業のうち、週1回英語によるコミュニケーションを中心とした時間として設定し、英会話力の向上に力を入れています。

他にも中学生イングリッシュ・ラウンジやイングリッシュサマーキャンプ事業など、英会話を楽しみ、実践していく機会を多く設けています。国際化社会の中で、鹿嶋っ子が世界に大きく羽ばたくことができるよう、市では今後さらに英語教育に力を入れていきます。



★鹿嶋市中学生イングリッシュ・ラウンジ参加者募集★

小学校6年間で慣れ親しんだ英語によるコミュニケーション能力の素地を生かし、積極的に英語でコミュニケーションを図り、主体的に英語を学ぶ態度や能力を育成することを目的として実施しています。

日時：平成28年12月23日(金)、平成29年1月5日(木)、6日(金)、7日(土)

平成29年1月15日(日)、22日(日)、29日(日)

各日9:00～11:00

場所：鹿嶋市教育センター研修室1、2

参加対象者：市内中学生(定員30人)

申込みに関する問合せ：教育指導課

0299-82-2911(内線525)

- 参加費無料
- 毎回テーマを決めてALTとコミュニケーションを行います。
- ALTとの会話を通して外国の文化を学ぶことができます。

注目!!

★イングリッシュサマーキャンプ事業とは★



市内の中学3年生を対象とし、福島県にある英語研修施設において研修を行い、小中学校で学んできた英語の実践体験をととして英語力アップを目指します。さらに、英国の伝統文化・マナーを体験し、国際人としての感覚を養うことを目的に実施しています。

本年度は7月24日(日)から26日(火)の3日間、中学3年生30人が参加しました。

※施設内では全て英語で会話をします。

◀英語で説明を受けながらスコーン作りに挑む参加者たち。

小中一貫教育 ～「確かな学力」と「豊かな人間性」を育むために～

少子化や核家族化等により子どもを取り巻く環境はめまぐるしく変化し、地域コミュニティの希薄化や児童生徒の人間関係を築く力の低下などが全国的な問題として言われています。これらに加え、本市の目指す地域と連携した、地域の特色を生かした学校づくりや、次期学習指導要領に先駆けて実施しているアクティブ・ラーニングの更なる推進を考えたとき、小学校と中学校の

9年間の連続した学びの中で「確かな学力」と「豊かな人間性」を育むことができる小中一貫教育は、とても有効な施策であると考えます。本市としては、これから小中学校の一貫教育を進めていくことを検討しています。

なお、小中一貫教育を進めるにあたっては、地域性やこれまでの小中連携の取組み状況、立地条件等から高松地区をパイロット地区とし、その効果を検証したうえで、市内全体への導入を検討していきます。



★アクティブ・ラーニング(AL)とは
課題の発見・解決に向けた主体的・対話的な学習による深い学びの名称で、児童生徒自らが見つけた課題に関して主体的に学習活動を繰り広げることが可能とする学習の進め方です。

期待される効果

学力の向上

義務教育の9年間を見通したカリキュラムの編成によって、児童生徒の発達段階に応じた適切かつ効果的な学びが実現できます。このような学習環境の充実には、児童生徒の学力向上の礎となります。

また、小中学校9年間の教育課程の編成により、先行学習やつまずきに対する学び直しとしての小学校期の復習が可能となり、児童生徒の学力が向上します。

中1ギャップの解消

小学校から中学校への進学時に、新しい環境での学習や生活に移行することにより不登校など学校に適應できなくなっていくなどの「中1ギャップ」の解消が図れます。

教職員の意識・指導力の向上・指導体制の充実

小中学校の教職員同士が、「義務教育9年間で児童生徒を育てる」という認識を持つことで、発達段階に応じた指導に関する共通認識を持ったり、指導内容の系統性や指導の見通しを持ったりすることで、小中学校それぞれの良さを取り入れ、協力して指導する意識が高くなります。

小中学校の教職員が交流して行う授業などは、教職員の専門性を生かした学習展開が可能となります。

アクティブ・ラーニング(AL)のより一層の推進

全市を挙げて取り組んでいるALのより一層の推進により、児童生徒の「生きる力」を育みます。ALによる学びによって児童生徒は、社会を生き抜いていくために必要とされている「コミュニケーション能力」「プレゼンテーション能力」「ディベート能力」を身に付けることができます。

規範意識の向上や自尊感情の高まり

小中学校の児童生徒がふれあう機会が増えることで、異学年交流の幅が広がり、上級生は年長者としての自覚が培われ、また、下級生の上級生に対しての憧れが強くなります。

落ち着いた環境での学校生活

9年間の落ち着いた生活環境により、児童生徒の情緒の安定、学力及び体力・運動能力の向上といった知・徳・体のバランスのとれた教育活動が実現できます。

問合せ 鹿嶋っ子育て課
0299-82-2911 (内線520)

スポーツのまち

問合せ スポーツ推進課 0299-82-2911 (内線297)

◆スポーツの祭典、45年ぶりに茨城で開催！ いきいき茨城ゆめ国体2019

～翔べ 羽ばたけ そして未来へ～

第74回国民体育大会が平成31年に茨城県で開催されます。鹿嶋市は、サッカー競技の会場地に決定し、全国各地の予選を勝ち抜いた少年男子24チーム、成年男子16チームが熱戦を繰り広げます(平成31年9月29日から10月3日の5日間)。また、国体開催前年の平成30年には、リハーサル大会として「全国社会人サッカー選手権大会」を開催します。



大会マスコット いばラッキー

現在、教育委員会では試合会場となる競技場の改修工事を行っており、本年度は「北海浜多目的球技場」、平成29年度以降には「ト伝の郷運動公園多目的球技場」と「高松緑地多目的球技場」の改修工事を行います。大会をとおして鹿嶋市の魅力を発信し、市民のおもてなしの心で全国からの来訪者をお迎えしましょう！

詳しくは ⇒ [検索](#) [茨城国体](#) <https://www.ibarakikokutai2019.jp/>

◆第42回鹿嶋市駅伝大会 1月15日(日)開催！～新春の風になれ～

新春恒例の鹿嶋市駅伝大会が、県内外から187チームの参加により開催されます。沿道での応援をよろしくお願いします。なお、当日は通行止め等の交通規制が予定されていますのでご注意ください。

【参加チーム】
(24km)鹿島神宮鳥居前スタート
中学男子45チーム、一般・高校生男子63チーム
(10km)鹿島大野駅スタート
中学生女子37チーム、一般・高校生女子5チーム
エンジョイ37チーム ※ともに、10時スタート

【主な見どころ】
・24kmの優勝は、一般男子か、高校生男子か。(昨年は高校生男子が優勝)
・市外中学生女子VS市内中学生女子！(昨年まで、市外中学生女子7連覇中)
・エンジョイの部には今年も仮装ランナー登場？



詳しくは ⇒ [検索](#) [鹿嶋市駅伝大会](#) <http://kashimashi.info/ekiden/>

◆鹿嶋陸上クラブ 設立2年目、現在100人の小中学生が活動中！



【クラブ長】森下正登さん(三笠地区在住)
→指導者ボランティアや父母の皆様のご協力により、2年目を迎えることができました。定期的に記録会にも参加し、子どもの個人記録も上がっており、活動が定着してきました。
【練習日時】毎週土曜日午前10時から12時
【場所】県立鹿島特別支援学校ほか
【問合せ】鹿嶋市体育協会 0299-83-1600

市民が熱唱!! 第2回鹿嶋市第九交響曲コンサート

鹿嶋勤労文化会館において12月11日(日)、第2回鹿嶋市第九交響曲コンサートが開催されました。

参加者は7月24日(日)に行われた結団式の日から、半年間にわたる練習を経て舞台に立ちました。当日は総勢168人(合唱113人、オーケストラ50人、ソリスト4人、指揮者1人)が、心をついに第九を熱演・熱唱し、来場した観客の中には、「曲が一番盛り上がる場面では、その迫力に鳥肌がたった。とても感動した。」と話す人もいました。



▲コンサート当日の様子。168人の迫力ある演奏。



発掘調査の現地説明会を行いました



12月3日(土)に鹿嶋市宮中にある、国指定史跡
かしまじんぐうけいだいつけたりぐうけあと 「鹿嶋神宮境内附郡家跡」
かのむかいせき (神野向遺跡) についての
現地説明会を行いました。

神野向遺跡は、昭和55年に個人住宅の建築の際に発見され、発掘調査により古代の郡役所跡であることが明らかになりました。その後の学術調査を経て、鹿嶋神宮境内・沼尾神社・坂戸神社とあわせて昭和61年に国の史跡に指定されました。

現在、鹿嶋市では神野向遺跡を史跡公園として整備保存することを計画しており、平成27年度から5カ年計画で史跡整備に向けた範囲確認調査を行います。



▲「鹿嶋神宮境内附郡家跡」現地説明会の様子

本年度は倉庫群である正倉しょうそうの周りにある大溝の未確定部分を調査しました。その結果、正倉の倉庫群は大溝で取り囲まれていたことが明らかになりました。

今後は今回の調査成果を整理し、整備保存計画や調査研究に生かしていきます。現地説明会の資料は「鹿嶋デジタル博物館」のホームページ(<http://kashimashi.info/bunkazai/>)にてご覧頂けます。

社会教育課の文化財担当では、鹿嶋市内の83件の指定文化財(国・県の指定を含む)をはじめとし、歴史的建造物や絵画、彫刻、工芸品や古文書、史跡、天然記念物、民俗芸能のほか、埋蔵文化財などについて保護・活用を行っています。

文化財は、長い歴史の中で生まれ、人とともに育まれ、今日まで伝えられてきた人類の共通財産です。歴史や文化などを正しく理解するために欠くことのできないものであり、また将来の文化の向上発展の基礎となるもので、大切に保存・活用していきたいと考えています。

もし、道路工事や土取り、住宅を建てる際などに地面を掘った際、昔の建物跡や土器などが見つかった場合には、下記までご連絡ください。

問合せ：社会教育課 0299-82-2911(内線299)